

事前研ありがとうございました

9月 25 日(木) 4-3 で研究授業です。教材は「ごんぎつね」で、新美南吉作品の並行読書を通して、学習を進めていきます。

○指導項目(読むこと)

1・2 年

エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。

3・4 年

エ 登場人物の気持ちの変化
や性格、情景について、場面
の移り変わり結び付けて具
体的に想像すること

5・6 年

エ 人物像や物語などの全体
像を具体的に想像したり、表
現の効果を考えたりすること。

3・4 年生では、登場人物の気持ちの変化を、場面の移り変わり結びつけて読む力をつけることが必要です。

そのための単元をつらぬく言語活動として、ジーンとしたところを伝えるカードの作成を設定しています。

子どもたちは本を読み、自分がジーンとした場面を選び、理由を言葉にします。ただし、感動は「その場面を切り取る」だけでは伝わりません。感動を伝えるには、その場面に至るまでの話のつながりを読む必要があるため、この活動によって複数の叙述を読みつなげる必然性が生まれてくると考えています。

○25日 授業で見ていただきたい点

- ①子どもたちが複数の叙述を結びつけながら、物語を読み進められているか。
- ②ペアで話し合うことで、子どもの読みが広がっている姿が見られたか。
- ③どんな手立てが有効だったのか、また必要だったのか。

の3点に注目して、授業を見てほしいです。

どの学年も物語教材がある時期だと思います。どの内容項目をめざして、どのような言語活動を設定するか考えるきっかけにもらえると思います。